

2021 年度（令和 3 年度）

事業報告

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

公益財団法人パブリックリソース財団

目次

<事業活動>

1 公益目的事業の状況.....	1
(1) 資金等の資源を募り、管理・活用する事業.....	1
1) オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」登録団体への寄附の募集.....	1
2) 財団運営への寄附	8
3) 社員参加型／顧客参加型寄附推進システムの提供・運営	8
4) 寄附基金の運営による継続的な寄附の推進.....	12
(2) 社会貢献活動についての情報提供、相談事業	39
(3) 寄附を推進するための普及啓発活動等に関する事業	39
1) 個人や企業等からの寄附を喚起するための事業.....	39
(4) 社会的活動を行う団体等に対する助成事業.....	40
(5) 社会的活動を行う団体等に対する寄贈事業.....	40
(6) 社会的活動を行う団体等に対する研修事業.....	41
1) NPO のマネジメントコンサルティングの実施	41
2) NPO マネジメントに関する講座の運営および講師派遣	41
(7) 調査研究、情報発信、政策提言に関する事業	42

<法人管理>

1 理事会・評議員会等	42
2 業務執行体制等.....	43
(1) 執行体制	43
(2) 職員の状況	43

1 公益目的事業の状況

「公1 より良い社会の形成を推進するため、資金等の資源を募り管理活用し、また社会的活動を行う団体に対して助成、顕彰等を行うほか、社会貢献活動についての調査、研究、情報発信、相談・助言等を行う事業」にかかわる個別事業の本年度事業結果を以下に報告する。

(1) 資金等の資源を募り、管理・活用する事業

広く個人や企業等からの寄附を社会的活動につなげていくもので、当財団の中心的な事業である。受け入れた寄附金を助成金として活用する側面を含めて、本項に記載する。

2021 年度に当財団が受け入れた寄附金は下記の通りである。当財団の呼びかけに賛同しご支援くださった、個人・企業の寄附者の皆様に深く感謝する。

◆寄付金	447,685,044 円
(内訳) 現金受領	443,799,985 円
現物受領	3,885,059 円

1) オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」登録団体への寄附の募集

オンライン寄附サイト「Give One (ギブワン)」を運営し、不特定多数の市民、特に初めて寄附を行う人や仕事が忙しく社会貢献活動の機会のない人などを対象に、当財団による厳正な事前審査を経た、信頼できる団体の活動情報を提供し、寄附を募った。助成先団体情報の更新、団体活動レポートの送信などを通じ、寄附者が助成先事業を共に支えていることが実感できる仕組みを提供している。

2021 年度は、「今」の社会課題の解決をはかるために活動する多様な分野の団体を Give One に新たに登録するため、2021 年 6 月 14 日から 2021 年 8 月 10 日まで新規登録団体の公募を行い、北海道から沖縄まで、全国から 59 件の応募があった。「組織審査委員会」での審査結果をもとに「プロジェクト審査委員会」で審査を行うという 2 段階方式で審査を行い、45 団体が採択された。また、休眠預金制度で本財団が支援している 7 団体についても追加で審査を行い、2021 年度は合計で 52 団体が新たに Give One の認証登録団体となった。2021 年度末現在で、登録団体は 202 団体である。

また、登録プロジェクト数は常時変動があるものの、年度末時点での状況としては 281 のプロジェクト掲載となった。

2021 年度 (2021 年 4 月～2022 年 3 月) にオンラインで申し込みがあった寄附金額 (クレジットカードと Pay-easy を通じた決済金額) は合計 26,583,500 円で、26,836,000 円であった前年度とほぼ同額となった。

寄附申込の翌々月末に助成金の振込を行うことから、2021年度（2021年4月～2022年3月）に登録団体に対する助成した金額は、2021年2月～2022年1月の間に寄附の申込のあった受入寄附金額 24,346,188 円の 85%にあたる 20,694,260 円であった。また運営管理費用として、同 15%の 3,651,928 円を充当した。

2021年度（2021年4月～2022年3月）の団体別受付寄附金額及び助成金額の実績は下記の通りである。

※受入寄附金額降順

団体名	受付寄附金額 (2021.4～ 2022.3)	助成金額 (2021 年度支払 済)
Learning for All	13,538,000	10,065,700
Earth Company (アース・カンパニー)	2,549,400	2,186,540
難民を助ける会 (AAR Japan)	867,264	202,714
全国女性シェルターネット	798,991	616,242
子どもセンター「パオ」	552,000	447,100
パブリックリソース財団寄付パッケージ 2021年豪雨災害 緊急助成基金	525,844	445,267
ケア・インターナショナル ジャパン	489,638	326,324
地球の友と歩む会 (LIFE)	324,570	302,235
女性と子ども支援センター ウィメンズネット・ こうべ	301,705	225,786
フードバンク関西	299,684	240,136
はたらく女性の全国センター (ACW2)	270,000	238,000
アムダ (AMD A)	265,000	182,750
日本教育再興連盟	234,000	153,850
ブリッジフォースマイル	227,000	194,650
グッドネーバース・ジャパン	219,175	129,303
日本クマネットワーク (JBN)	207,760	176,596
日本地雷処理を支援する会 (JMAS)	185,000	162,350
東京 YWCA	163,000	130,050
気候ネットワーク	162,000	124,100
認定 NPO 法人フードバンク山梨	149,000	121,550
チャイルド・リソース・センター	144,000	131,750
SGSG	136,000	34,000

秋田たすけあいネットあゆむ	134,000	5,950
長野サマライズ・センター	130,000	107,950
キッズドア	128,500	111,775
ぱれっと	116,000	98,600
大雪山自然学校	110,000	93,500
子どもセンターぽると	98,395	75,986
維新隊ユネスコクラブ	96,000	62,050
公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)	90,000	71,400
国際環境 NGO FoE Japan	88,000	63,750
エバーラスティング・ネイチャー	87,400	69,190
カパティラン	87,000	61,200
チャイボラ	86,000	71,400
RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク)	81,447	80,280
子どもシェルターモモ	81,000	73,100
民際センター	79,000	90,525
ビッグイシュー基金	77,000	73,950
日本クリニックラウン協会	73,800	62,730
パレスチナ子どものキャンペーン	73,000	63,750
ASIAN PEOPLE' S FRIENDSHIP SOCIETY	72,000	50,150
CAP センター・JAPAN	72,000	58,650
越谷らるご	71,685	58,327
日本 IDDM ネットワーク	71,000	70,550
SOS 子どもの村 JAPAN	70,000	65,875
リトルワンズ	60,000	48,450
まちぽっと	58,718	49,910
ちろる	57,072	3,400
フェアスタートサポート	57,000	45,900
ピース ウィンズ・ジャパン	55,800	47,430
アイキャン	53,000	64,600
ハンガー・フリー・ワールド	52,000	41,650
子どもの虐待防止ネットワーク・あいち (CAPNA)	51,929	56,040
3keys	51,000	43,350
みんなのことば	46,000	39,100
子どもの虐待防止センター	45,000	447,950

知床自然大学院大学設立財団	45,000	38,250
地域・教育魅力化プラットフォーム	45,000	39,100
アクセプト・インターナショナル	44,000	36,550
ユースコミュニティー	44,000	2,550
地球市民の会	44,000	39,100
シャンティ国際ボランティア会	38,000	32,300
びじっと・離婚と子ども問題支援センター	38,000	16,150
白神山地を守る会	38,000	32,300
エイブル・アート・ジャパン	36,144	42,131
宮古島海の環境ネットワーク	36,105	30,689
フィリピン日系人リーガルサポートセンター	36,000	30,600
さいたまユースサポートネット	30,000	34,000
フォトボイス・プロジェクト	30,000	8,500
シャプラニール＝市民による海外協力の会	29,000	29,750
国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター	28,000	58,650
Giving Tree	27,000	18,700
霧多布湿原ナショナルトラスト	27,000	22,950
トラ・ゾウ保護基金	26,000	21,250
JUON NETWORK (樹恩ネットワーク)	25,998	22,098
Colabo	25,000	0
JHP・学校をつくる会	24,000	22,950
ウィメンズアイ	24,000	13,600
エイズ孤児支援 NGO・PLAS	24,000	62,900
フローレンス	24,000	13,600
おてらおやつクラブ	21,000	9,350
高木仁三郎市民科学基金	20,000	17,000
棚田 LOVER' s	20,000	21,250
インフォメーションギャップバスター	18,000	16,150
エンドオブライフ・ケア協会	18,000	14,450
フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	18,000	5,950
難病の子どもとその家族へ夢を	18,000	11,050
チャイルドラインあいち	17,000	14,450
緑の地球ネットワーク	17,000	18,700
特定非営利活動法人ふおーらいふ	15,000	12,750
タンザニア・ポレポレクラブ	14,000	16,150

レスキューストックヤード	14,000	11,900
コクレオの森	13,476	11,455
トゥギャザー	13,000	22,383
日本国際民間協力会 (NICCO)	13,000	12,750
アムネスティ・インターナショナル日本	12,000	10,200
いるか	12,000	10,200
芸術家と子どもたち	12,000	10,200
荒川クリーンエイド・フォーラム	12,000	10,200
ビーンズふくしま	11,000	9,350
やまがた福わたし	11,000	9,350
GrowAsPeople	10,000	40,800
PHD 協会	10,000	25,500
あおもり NPO サポートセンター	10,000	8,500
アフリカ日本協議会	10,000	8,500
きょうとグリーンファンド	10,000	8,500
クロサワ育成財団	10,000	8,500
日本国際ボランティアセンター (JVC)	10,000	12,750
POPOLO	9,000	0
アトピッ子地球の子ネットワーク	9,000	8,500
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター	9,000	9,350
ジャパン・プラットフォーム	8,000	5,950
ぴいかあぶう	8,000	6,800
共生福祉会	8,000	850
河北潟湖沼研究所	6,000	5,100
石巻復興支援ネットワーク	6,000	7,650
bankup / 学生人材バンク	5,000	4,250
hareruya	5,000	29,750
ReRoots	5,000	4,250
おおいた環境保全フォーラム	5,000	20,462
ささえる	5,000	0
とりで	5,000	4,250
多言語社会リソースかながわ	5,000	4,250
日本ウミガメ協議会	5,000	4,250
抱樸	5,000	0

自立支援センター ふるさとの会	4,000	0
楠の木学園	4,000	3,400
TeachForJapan	3,000	1,700
ワンファミリー仙台	3,000	0
桜ライン 311	3,000	0
日本生態系協会	3,000	2,550
エンパワリング ブレストキャンサー	2,000	1,700
ぽっかぽかランナーズ	2,000	0
アレルギーを考える母の会	1,000	850
ジャパンハート	1,000	6,800
たんぽぽの家	1,000	850
日本芸能実演家団体協議会	1,000	8,500
パノラマ	0	66,300
石西礁湖サンゴ礁基金	0	12,155
スマイリングホスピタルジャパン	0	10,200
東京シューレ	0	9,350
公益財団法人 国際医療技術財団	0	8,500
東京YMCA “liby (リビー)”	0	8,500
ブリッジ エーシア ジャパン	0	5,100
アジア協会アジア友の会	0	4,250
PIECES	0	2,550
ウォーターエイドジャパン	0	2,125
レイプクライシスセンターTSUBOMI	0	850
合 計	26,583,500	20,694,260

クレジットカード、ペイジー以外の決済手段による、Give One（ギブワン）登録団体に対する寄附は6,277,591円だった。2020年度に受け入れた寄附からの助成を合わせて、2021年度は12,985,976円を助成した。

寄附者名		受入寄附金額
個人	(1件)	30,000
企業	(4件)	6,409,101
合 計		6,439,101

助成先団体名	助成額
Earth Company	7,650,000
Learning for All	2,550,000
子どもの虐待防止センター	295,065
フェアスタートサポート	170,000
アムダ (AMD A)	165,328
Giving Tree	98,738
グッドネーバーズ・ジャパン	98,738
維新隊ユネスコクラブ	98,738
子どもシェルターモモ	98,738
アトピッ子地球の子ネットワーク	66,590
ケア・インターナショナル ジャパン	66,590
エイブル・アート・ジャパン	66,018
おてらおやつクラブ	66,018
たんぽぽの家	66,018
ビーンズふくしま	66,018
気候ネットワーク	66,018
子どもセンターぽると	66,018
難民を助ける会 (AAR Japan)	66,018
3keys	33,295
CAP センター・JAPAN	33,295
DPI 日本会議	33,295
JUON NETWORK (樹恩ネットワーク)	33,295
ReRoots	33,295
TeachForJapan	33,295
あおもり NPO サポートセンター	33,295
アジア・アフリカと共に歩む会	33,295
おおいた環境保全フォーラム	33,295
キッズドア	33,295
ジャパン・プラットフォーム	33,295
タンザニア・ポレポレクラブ	33,295
チャイルド・リソース・センター	33,295
チャリティーサンタ	33,295
トラ・ゾウ保護基金	33,295
はたらく女性の全国センター (ACW2)	33,295

ビッグイシュー基金	33,295
フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	33,295
ブリッジフォースマイル	33,295
フローレンス	33,295
まちぽっと	33,295
学生人材バンク	33,295
芸術と遊び創造協会	33,295
高木仁三郎市民科学基金	33,295
子どもの虐待防止ネットワーク・あいち (CAPNA)	33,295
秋田たすけあいネットあゆむ	33,295
女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	33,295
神戸定住外国人支援センター (KFC)	33,295
特定非営利活動法人ふぉーらいふ	33,295
楠の木学園	33,295
日本 IDDM ネットワーク	33,295
日本クリニクラウン協会	33,295
日本生態系協会	33,295
白神山地を守る会	33,295
民際センター	33,295
合 計	12,985,976

2) 財団運営への寄附

当財団の賛助会費（運営費 100%）は、70,000 円だった。

また、財団指定寄附（事業費及び運営費 各 50%）は、2,010,000 円だった。

3) 社員参加型／顧客参加型寄附推進システムの提供・運営

< 寄附付き年賀状 >

寄附金付き年賀状の企画は株式会社プリプレス・センターと協働して、2014 年版年賀状（当財団 2013 年度）から実施している。年賀状に支援先を明記するために、年賀状の販売開始に先立ち、2014 年度に助成先に関する選考委員会を開催し本年賀状のデザインで採用される障がい者アートの活動（一般財団法人たんぽぽの家 エイブルアート・カンパニー）を助成先として決定した。2021 年度は、2021 年版年賀状販売による寄附金（52,470 円）をもとに、44,600 円の助成を実施した。

受入寄附金額	52,470 円
助成額	44,600 円
公募	公募実施せず（継続助成）
審査会	2014 年 7 月 11 日 ～ 17 日（書面による持回り開催）
選考委員	秋葉 武（立命館大学産業社会学部 教授） 伊藤 隆（世界文化フォーラムアライアンス 日本幹事） 槇 ひさ恵（特定非営利活動法人ニンジン 常務理事）
審査結果	一般財団法人たんぼぼの家 エイブルアート・カンパニー
助成期間	2021 年 4 月 ～ 2022 年 3 月

<東北 3.11 基金>

福島、宮城、岩手の子どもたちをめぐる課題を解決し、子どもたちが自らの力で未来を切り開いていく活動を支援する基金である。認定特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会の管理する寄附金つき飲料自動販売機の売り上げを原資として、助成を行った。2021 年度は、3 団体に対し合計 1,400,000 円を助成した。なお、本基金は 2021 年度に助成を行った団体の活動終了をもって、事業を終了とするため、2021 年度は寄附金の受け入れを行わなかった。

受入寄附金額	0円
助成額	1,400,000 円
公募	2021 年 4 月 20 日 ～ 5 月 31 日
審査会	2021 年 7 月 6 日（オンラインでの審査会）
審査委員	秋葉 武（立命館大学産業社会学部 教授） 臼井 清（合同会社志事創業社 代表） 西田 治子（一般社団法人Women Help Women 代表理事）
審査結果	以下の 3 団体を決定 網地島ふるさと楽好 一般社団法人 未来の準備室 一般社団法人 あとり技芸向上支援協会
助成期間	2021 年 8 月 1 日 ～ 2022 年 7 月 31 日

<魚沼の未来基金>

本基金は、塩沢信用組合と協働して、魚沼地域の未来を切り拓く人材や団体を支援し、地域の誰もがいきいきと暮らせるふるさと魚沼を、将来にわたって継承・発展させることを目的として設立した。

本基金は、信用組合が組合員に呼びかけて寄附を募り共に地域に貢献するという、金融機関が「社会貢献のプラットフォーム」を提供する日本初の取り組みである。

ご寄附は「はばたき奨学金」（返済不要の高校生向け奨学金制度）に活用され、新1年生一人当たり96,000円（入学準備金36,000円、月例奨学金60,000円（5,000円×12か月））、新2、3年生は60,000円（月奨学金60,000円（5,000円×12か月））を支給している。

2021年度は244件、17,366,300円の寄附を受け入れた。

また、「第六期はばたき奨学金」対象者として、魚沼地域のひとり親家庭の子女48名（新1年生23名・新2年生13名・新3年生25名）の奨学生の選定を行った。

2021年度の奨学金支給は、第五期奨学生48名に対して月例奨学金、第五期奨学生のうち3年生に卒業お祝い金、第六期奨学生のうち新1年生に入学準備金を支給した。

受入寄附金額	17,366,300円
助成額	第五期：2,850,000円 第六期：828,000円（新1年生に対する入学準備金のみ） 卒業祝金：140,000円（10,000円×14人） 合計：3,818,000円
公募	2021年10月1日～11月30日
応募	61人
審査会	2022年1月27日
選考委員	寺尾 仁（新潟大学工学部建設学科 准教授） 林 茂男（南魚沼市長） 内田 幹夫（魚沼市長） 小野澤 一成（塩沢信用組合 理事長）
審査結果	61人を奨学生として選定
助成期間	2022年3月1日～2023年3月31日

<大和証券グループ サンタチャリティープログラム>

同プログラムは、大和証券グループの社員による寄附を原資とし、社会的養護にいる子どもたちやNPO等の支援を受けるひとり親家庭やその子どもたちに対して、NPO等の団体を通じてクリスマスシーズンにおもちゃ、ケーキなどをプレゼントする基金である（本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からケーキのプレゼントは中止した）。

2021年度は、1,456件9,574,514円の寄附を受け入れた。

審査委員会により29件の団体が採択され、おもちゃセットとお菓子セットを寄贈した。

受入寄附金額	9,574,514円
寄贈数	おもちゃセット：96セット お菓子セット：2,211セット 合計9,574,514円相当
公募	2021年11月1日～2021年11月16日
応募件数	29団体
審査会	2021年11月18日～2021年11月29日（メールによる持ち回り審査）
選考委員	小河 光治（公益財団法人あすのば 代表理事） 岸本 幸子（公財団法人パブリックリソース財団 専務理事） 吉田 光太郎（株式会社大和証券グループ本社経営企画 部長）
寄贈先選定結果	浦添市母子生活支援施設浦和寮 沖縄県マザーズスクエアうるはし 沖縄県マザーズスクエアゆいはあと北部 一般社団法人サポートセンターHOPE 沖縄県マザーズスクエアゆいはあと 公益財団法人慈友会児童養護施設慈友学園 グリーンヒル相模原 公益社団法人那覇市母子寡婦福祉会 社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会 母子生活支援施設 愛知昭和荘 NPO 法人女性ネット Saya-Saya 認定 NPO 法人ファミリーハウス 社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会 愛知しらゆり荘 社会福祉法人厚生館 厚生館立花 沖縄県マザーズスクエアゆいはあと中部 NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク ライトハウス新宿チャーチ Jメイト NPO 法人ビーンズふくしま NPO 法人名古屋市里親会こどもピース NPO 法人 Mama's Cafe 新潟県フードバンク連絡協議会 認定 NPO 法人エデュケーションエーキューブ

社会福祉法人名古屋文化福祉会 キンダーホルト 認定 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ ポルテホール/ 一般社団法人あだち子ども支援ネット NPO 法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄 ふくしまこども食堂ネットワーク 認定 NPO 法人キッズドア 認定 NPO 法人ふーどばんく OSAKA NPO 法人青少年居場所 Kiitos
--

4) 寄附基金の運営による継続的な寄附の推進

今期は下記の基金を運営した。

<未来につなぐふるさと基金>

同基金は、キャノンマーケティングジャパン株式会社で使用済みカートリッジの回収本数と PPC 用紙（コピー紙）の販売数に応じ同社が実施する寄附や、古本の回収等による一般からの寄附も受け付けている。同基金への 2021 年度寄附受け入れ額は 9,510,250 円だった。

2020 年度に採択された 5 団体については、2021 年 12 月に継続審査を行い、継続助成（助成期間：2021 年 1 月～2022 年 12 月）を決定し、2,500,000 円を助成した。プログラムの見直しをはかるため、2021 年度は新規助成団体の募集は行わなかった。

2021 年度の助成先である 10 団体において、生物多様性の保全を促す 79 の市民参加型プログラムが実施され、1,573 名の市民が参加した。また、助成先団体の組織運営力の向上を目的とした組織診断や広報ワークショップ等の、運営面での支援を 7 団体に対して行った。キャノンマーケティングジャパン株式会社が生物多様性の啓発を目的として開設した「未来につなぐふるさとプロジェクト」のサイトに掲載するためのコンテンツの収集に協力し、公益財団法人日本自然保護協会と協力して、生物多様性の専門的見地からのコメントを作成した。

2022 年 3 月には、2021 年の助成先団体 10 団体および審査委員、キャノンマーケティングジャパン株式会社が出席して、オンラインによる報告会を開催した。

受入寄附金額	9,510,250円
助成額	2,500,000円
公募	新規団体の公募は実施しなかった
審査会	2021年 12 月：2020 年助成の継続審査（メールによる持ち回り審査）

審査委員	小川 潔（東京学芸大学名誉教授） 三好 紀子（公益財団法人日本自然保護協会 自然のちから推進部） 村上 千里（公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、環境委員会副委員長） キヤノンマーケティングジャパン株式会社
審査結果	継続助成（5団体） NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム のまはら 一般社団法人 自然再生と自然保護区のための基金 NPO法人 Peace & Nature NPO法人 グラウンドワーク三島
助成期間	継続 2022 年 1 月 1 日 ～ 2022 年 12 月 31 日

<大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金>

同基金は、株式会社大和証券グループ本社の持続可能な社会の実現に向けて貢献する活動の一環として、子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に創設された基金である。同基金では、子どもの人生への意欲を育み将来の貧困リスクを低減する先駆的な事業をとりあげ、効果的で継続的なものとするための事業開発を支援し、子どもの貧困対策におけるイノベーションを推進している。

同基金の助成金プログラムは、1 団体につき初年度 300 万円程度、2 年度目 300 万円程度、3 年度目 300 万円程度、総額 900 万円程度を支給する。なお、継続支援には 1 年毎の審査が行われる。

2021 年度は 4 件 2,450,819 円の寄附を受け入れ、審査会にて継続支援 2 団体を選定した。

受入寄附金額	2,450,819 円
助成額	6,700,000 円（前年度までの寄付を含む）
審査会	審査会：2021 年 12 月 17 日
審査委員	萩原 なつ子（立教大学社会学部・同大学院 21 世紀社会デザイン研究科 教授、認定 NPO 法人日本 NPO センター 代表理事） 赤石 千衣子（特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事長） 小河光治（公益財団法人あすのば 代表理事）

	川那部留理子（株式会社大和証券グループ本社 経営企画部 SDGs 推進室長） 柴沼俊一（株式会社シグマクシス 常務執行役員）
審査結果	以下の2団体を決定 特定非営利活動法人 パノラマ 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート
助成期間	2022年1月1日～2022年12月31日

<大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金>

同基金は、新型コロナウイルスのような感染症の流行や昨今の豪雨災害、また今後予期される首都直下型地震・南海トラフ地震等の自然災害の発生時においても、子どもが必要な支援を継続的に受けることができるよう、子ども支援団体が平時より団体運営の持続可能性とレジリエンスを高めることを応援するものである。なお、2020年6月に発行した社債「大和証券グループ未来応援ボンド」の手取金の一部を本基金への寄付金に充当している。

同基金の助成金プログラムは、1団体につき350万円の助成金を支給する。2021年度は、34,166,667円の寄附を受け入れ、審査会にて7団体を選定した。

受入寄附金額	34,166,667円
助成額	24,500,000円
審査会	一次審査会：2021年12月10日 二次審査会：2021年12月22日
審査委員	中村 陽一（立教大学 21世紀社会デザイン研究科 教授） 奥山 千鶴子（認定 特定非営利活動 法人びーのびーの 理事長） 川那部 留理子（株式会社大和証券グループ本社 経営企画部 SDGs 推進室長） 柴沼 俊一（株式会社シグマクシス 常務執行役員） 米田 佐知子（子どもの未来サポートオフィス 代表）
審査結果	以下の8団体を決定 特定非営利活動法人 eboard 特定非営利活動法人 ウィーズ 認定 特定非営利活動法人 ACE 認定 特定非営利活動法人 SOS 子どもの村 JAPAN 認定 特定非営利活動法人 CPAO 特定非営利活動法人 Chance For All 認定特定非営利活動法人 山口せわやきネットワーク
助成期間	2022年1月1日～2022年12月31日

<ゴールドマン・サックス基金>

ゴールドマン・サックス証券株式会社 (GS) の持田昌典社長のイニシアチブで創設された基金であり、子どもの貧困問題に取り組む団体を支援している。持田社長は米国の大学で学んで飛躍した自身の経験から、「教育を受けるチャンスがあることは重要だ」と基金の創設を行った。

同基金では、Give One (ギブワン) 登録団体の中から、NPO 法人「Learning for All (LFA)」(東京都新宿区、李炯植代表理事) を選択し、同団体が展開する学習支援などのプログラムに、2018 年度より 3 年間で計約 4 億円を助成し、延べ約 750 人の子どもたちへの教育支援を目指し取り組んできた。2020 年度までの 3 年間のプログラムで、葛飾区その他、つくば市、戸田市と 3 か所の異なる地域拠点で“支援を必要とする子どもを見つけ、繋がり、支援する”ための事業モデルを構築し、結果としてつながった子どもたちはのべ 1700 人にのぼった。2021 年度は、166,800,914 円の寄附を受け入れ、LFA に対し 108,264,336 円を助成した。LFA は、助成金をもとに、既存の各拠点で活動を継続し、コロナ禍で困難度を深める子ども達とその家族と繋がり、対面ならびにオンラインでの学習に取り組むなどして活動を展開した。

受入寄附金額	166,800,914円
助成額	108,264,336 円
受益者数	年約800人

<ゴールドマン・サックス地域協働型子ども包括支援基金>

本基金は、ゴールドマン・サックス基金により 2018 年度から 3 年間に渡って、“子どもと出会い・繋がり・支える” 子ども包括支援に取り組んできた NPO 法人 Learning for All (LFA) が、これまで培ってきたノウハウと経験を伴走支援しながら伝えていくとともに、全国の子ども達を支える実践者の応援を行っていくというコンセプトのもと、ゴールドマン・サックスの寄付をもとに 2021 年度に新規設立されたものである。

地域特性に即した「地域協働型子ども包括支援」の継続的实践をめざして体制構築、組織基盤強化、活動の強化や支援拡充に取り組む団体に対し、資金助成を行うと共に、NPO 法人 Learning for All による伴走支援を提供する。

2021 年度は、74,957,500 円の寄附を受け入れ、以下 2 つのタイプの助成プログラムを通じて、33,398,000 円を助成した。

《助成タイプ A》 地域協働型子ども包括支援構築・組織基盤強化助成 (3 か年継続助成)

地域で子どもと出会い・繋がり・支える「子ども包括支援」を実現するための運営強化・改善と組織基盤強化を応援する。

《助成タイプB》 子ども支援活動強化助成（単年度助成）

地域で子どもと出会い・繋がり・支える「子ども包括支援」を実現するために既存活動の強化や新規支援拡充を応援する。

	助成タイプA	助成タイプB
公募期間	2021年5月9日～6月7日	
助成額	25,398,000円	8,000,000円
審査会	一次審査会：2021年7月31日	
	二次審査会：2021年8月31日	二次審査会：2021年9月2日
審査委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 宮本みち子（放送大学客員教授・名誉教授, 千葉大学名誉教授） ● 松田知佳子（ゴールドマン・サックス証券株式会社コーポレート・エンゲージメント 社会貢献担当） ● 土屋佳子（日本社会事業大学専門職大学院非常勤講師） ● 番野智行（NPO 法人 ETIC. ソーシャルイノベーション事業部 マネージャー/事業統括） ● 李炯植（特定非営利活動法人 Learning for All 代表理事） 	
審査結果	以下の5団体を決定 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま 特定非営利活動法人 あっとすくーる 特定非営利活動法人 ダイバーシティ工房 特定非営利活動法人 STORIA 特定非営利活動法人 いるか	以下の4団体を決定 認定 特定非営利活動法人 抱樸 特定非営利活動法人 ケアット 特定非営利活動法人 アスイク 一般社団法人 SGS
助成期間	助成決定時～ 2022年3月31日	助成決定時～ 2022年8月31日

<緊急災害支援基金>

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社より、災害が起こった際に会社として緊急に募金するための基金を立ち上げたいとの相談を受けた。Give One（ギブワン）の登録団体を助成の対象とすることで迅速な資金支援を行うことを提案し、基金の仕組みを協働で開発した。2021年度は、2021年7月、8月に発生した豪雨災害への緊急支援を実施している団体に、50万円を助成した。また、緊急時に備えたプール金として、3,000,000円の寄付を受け入れた。

受入寄附金額	3,000,000 円
助成額	500,000円
助成対象団体	特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム

<東京海上日動キャリアサービス 働く力応援基金>

当基金は、様々な理由で働くことに困難を抱える方々を、働きがいのある就労につなげ、インクルーシブな世界の実現を図ることを目的に、株式会社東京海上日動キャリアサービスからの寄付をもとに創設された。本基金では、全ての人が自分で職業を選ぶことができる社会、働く権利を保障される社会を目指し、「働くを求める人」の就労を促進し、社会課題の解決を行う就労支援のNPO等に対し、助成を行う。

2020年に受け入れた150,000,000円の寄付金をもとに、2021年度から3年間助成事業を継続して行うこととしている。2021年度では1年目の公募を行い、審査会にて8団体を選定した。

受入寄附金額	0 円
助成額	84,506,340 円
公募	2021年3月1日～2021年3月26日
応募	88 件
審査会	2021年5月6日
審査委員	朝日 雅也（公立大学法人埼玉県立大学教授） 赤石 千衣子（特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長） 田中 勇一（リソウル株式会社代表取締役） 藤井 敦史（立教大学コミュニティ福祉学部教授） 田崎 博道（株式会社東京海上日動キャリアサービス代表取締役社長）
審査結果	以下の8団体を決定 ダンウェイ株式会社 NPO法人 WEL'S NPO法人 Collable NPO法人 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい NPO法人 さいたまユースサポートネット NPO法人 キッズドア NPO法人 サンカクシャ NPO法人 とりで

助成期間	2021年6月1日～2022年3月31日
------	----------------------

<ふくしま未来基金>

「ふくしま未来基金」は福島県内の篤志家及び地域貢献を目指す企業からの寄附で創設された地域基金である。基金創設時に受け入れた大口寄附をもとに運営を行っている。

2021年度は、一般財団法人ふくしま未来研究会や一般社団法人ふくしま連携復興センターなど、複数の福島市内の中間支援組織や専門家と連携しながら、「まちづくり草の根助成（単年度支援100万円）」を実施した。2021年度は4件105,000円の寄附を受け入れ、福島市内を中心とする8団体に総額7,290,000円を助成した。

なお、2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、前年度まで実施していた「NPOマネジメントコンサルタント養成講座」「ふくしま志高塾」は実施しなかった。

助成額	7,290,000円（総額） ※前年度以前受け入れ寄附分も含む
公募	2021年5月24日～6月15日
応募件数	15団体
審査会	2021年7月26日
選考委員	永倉 禮司（福島大学学長参与） 中鉢 博之（NPO法人ビーンズふくしま 理事） 萩原 なつ子（立教大学社会学部・同大学院 21世紀社会デザイン研究科教授、認定NPO法人日本NPOセンター 代表理事） 紅邑 晶子（オフィス Beni 代表）
選定結果	特定非営利活動法人しんせい 特定非営利活動法人 野馬土 いわき・双葉の子育て応援コミュニティ cotohana 一般社団法人福島県助産師会 一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマ しんちの子育て考え隊 特定非営利活動法人キャリア・デザイナーズ 一般社団法人 MotherTree
助成期間	2021年8月1日～2022年7月31日

<あい基金>

すべての女性が自らの力で人生を選択できる社会を目指し、経済的自立など女性にまつわる課題解決に取り組む事業を支援する、女性のための基金「あい基金」を運営している。

2021年度は合計200,522円の寄附を受け入れた。

2021年度は、2019年度助成先団体の継続事業に対して下記の内容で助成を行った。

助成先団体	事業名	助成額	事業期間
一般社団法人コミュニティスペースうみねこ	持続可能なものづくり	330,000 円	2021 年 8 月 1 日 ～2022 年 3 月 31 日
一般社団法人 tenten (ベルフォンテ)	会津木綿と刺し子を使ったママ向けブランド商品開発プロジェクト	330,000 円	2021 年 8 月 1 日 ～2022 年 3 月 31 日

なお、2020 年以降、“女性不況”とも呼ばれるように、コロナ禍で女性の貧困の深刻化や孤立が進み、女性を取り巻く外部環境に大きな変化がうまれていることから、次年度以降のあい基金の活動方針を見直す予定である。

<I. H. K 基金>

同基金は、将来の医療福祉分野での活躍を願って、東京都内の児童養護施設または里親宅で暮らしている児童（女子）が高校卒業後に進学する授業料を助成し、児童の社会的自立を支援することを目的に設立された。専門教育機関を卒業するまで一人当たり総額 100 万円の返済不要の奨学金を支給している。また、認定特定非営利活動法人ブリッジフォースマイルと連携し、就学期間中、対象者に若い社会人ボランティアを派遣し、社会的自立に向けて、近い年齢層からの相談しやすい環境を提供していく。

2021 年度は 1,040,000 円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、1 名の奨学生を選定し、1 年目の奨学金として 400,000 円を支給した。

受入寄附金額	1,040,000 円
年間総助成金額	700,000 円（過年度奨学生への奨学金給付を含む）
公募	2021 年 9 月 1 日 ～ 9 月 30 日
応募	1 件
審査会	2021 年 11 月 6 日
選考委員	小園 弥生（横浜市男女共同参画センター横浜南 管理事業課長） 山北 洋二（あしなが育英会 顧問） 岸本 幸子（公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事）
審査結果	1 人を奨学生として選定
奨学金給付期間	2022 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

<ゆーじチャレンジ基金>

同基金は、将来の医療福祉分野での活躍を願って、静岡県内の児童養護施設または里親宅（ファミリーホーム含む）で暮らしている児童が高校卒業後に進学する授業料を助成し、児童の社会的自立を支援することを目的に設立された。一人当たり総額 100 万円の返済不要の奨学金を支給する。

2021 年度は 1,220,000 円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、1 名の奨学生を選定し、1 年目の奨学金として 250,000 円を支給した。

受入寄附金額	1,220,000 円
年間総助成額	750,000円（過年度奨学生への奨学金給付を含む）
公募	2021 年 4月 1日～5月 28 日
応募	1 件
審査会	2021 年 7月 11日
選考委員	小野田全宏（静岡県ボランティア協会市民活動センター 理事長） 日詰一幸（静岡大学 学長） 岸本幸子（公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事）
審査結果	1 人を奨学生として選定
助成期間	2022 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

<ゆーじ基金ひとり親支援プログラム>

同基金は、将来の子ども達の活躍を願って、コロナ禍で医療の最前線に立つ看護師の子女を支援することを目的として、静岡県中東遠地域の病院に勤めるひとり親の看護師の子女を対象に、高校進学・進級にあたって必要となる費用の一部を、一人あたり 10 万円をお祝い金（奨学金）として支給し、子女の学校教育の継続を支援する。

初年度となる 2021 年度は 972,500 円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、4 名の奨学生を選定し、400,000 円を支給した。

受入寄附金額	972,500 円
年間総助成額	400,000 円
公募	2021 年 6 月 1 日 ～ 2021 年 6 月 30 日
応募	4 件
審査会	2021 年 7 月 11 日

選考委員	小野田全宏（静岡県ボランティア協会市民活動センター 理事長） 日詰一幸（静岡大学 学長） 岸本幸子（公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事）
審査結果	4人を奨学生として選定
助成期間	奨学生決定時 ～ 2022 年 3 月 31 日

< 渡邊利三国際奨学基金 >

本基金は、難民の背景を持つ若者の大学進学を支援するため、渡邊利三氏の寄付をもとに設立されたものである。

難民となる困難な経験を経ても、学びを続け、将来社会に貢献しようと努力する若者達の支援を目的にしている。その中でも特に、従来日本で奨学金応募の機会が限られていた、期間限定の在留資格の人々を対象にしており、進学と就職を経て、将来安心して日本社会で暮らし、活躍できるよう支援する。

本基金の運営には、難民の状況となった人々に、日本で高等・専門教育を受ける機会を作り、提供する活動を行っている一般財団法人パスウェイズ・ジャパンが協働して取り組んだ。

2021 年度は 10,000,000 円の寄附を受け入れた。奨学金選考委員会にて、4 名の内定者と 3 名の次点者を決定した。内定者・次点者のうち、2021 年度内に進学先の合否判定が確定して正式に奨学生となった 3 名に対し、2022 年 3 月末までに 815,000 円を支給した。

受入寄附金額	10,000,000 円
2021年度内に給付した奨学金	815,000円（※2022年3月末までに給付した奨学金。2022年度にも個別に決定した奨学金決定通知に従い、学費ならびに生活補助費を給付予定）
公募	2021 年 12 月 6 日 ～ 2022 年 1 月 7 日
応募	8 件
奨学金給付内容	（1）学費 年額170万円以内（施設管理・維持費、実験実習費等その他教育機関が必要とする経費については、経済状況に応じて個別に支給を決定。） （2）規定に基づく生活費補助 学部1-2年：月額最大7万円 学部3年：月額最大6万円 学部4年及び大学院：月額最大5万円 ※いずれも応募時点の経済状況や他の奨学金等の受給状況を考慮の

	上、支給額を決定する。
審査会	2021年1月30日
選考委員	小川 玲子（千葉大学社会科学研究院教授） 桑名 恵（近畿大学国際学部准教授） 杉本 大輔（全国難民弁護団連絡会議事務局）
審査結果	内定者：4名 次点者：3名 を選定
奨学生決定	合否判定の結果、2021年3月末までに3名が正式に奨学生として決定
助成期間	奨学生決定時 ～ 2023年3月31日

<謝縁教育基金>

「自身が生きてくる中で、多くの皆様からいただいたご恩を次の世代に送り、自分が人生で大切にしてきた志を次の世に遺したい。」という寄付者の想いにより 2019 年度に設立された。当基金は、困難を抱える若者への教育支援や、不登校や発達障害の若者の居場所づくりに取り組む NPO 法人等の活動を支援することを目的としており、Give One（ギブワン）に登録されている審査済みの団体から、1 団体あたり 50 万円を 6 年間、合計 6,000,000 円の資金助成を行う予定である。

2021 年度では、同基金の目的に合致する活動を行っている下記 2 団体に対し、継続助成を行った。

受入寄附金額	0円
助成額	1,000,000 円
助成対象団体	特定非営利活動法人 Learning for All 特定非営利活動法人 楠の木学園
助成期間	2020年4月～2026年3月

<移民・難民支援基金>

当基金は、日本国内の難民、移民、技能実習生、外国人労働者とその家族など、外国籍または外国にルーツをもつ人々への支援を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し、資金助成をはかり、その活動を支援することを目的として創設された。2021 年度は、400 万円の寄付を受入れ、1 団体あたり 40～80 万円の資金助成を行い、全 5 団体に対して合計 320 万円の資金助成を実施した。

受入寄附金額	4,000,000 円
--------	-------------

助成額	3,200,000 円
公募	2021 年 9 月 1 日 ~ 2021 年 9 月 30 日
応募	35 件
審査会	2021 年 11 月 12 日
選考委員	田村 太郎 (一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事) 鈴木 江理子 (国士舘大学文学部 教授) 杉本 大輔 (全国難民弁護団連絡会議事務局)
審査結果	以下 5 団体を決定。 すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク (RINK) 松山さかのうえ日本語学校 特定非営利活動法人 J F C ネットワーク クルド日本語教室 特定非営利活動法人 北関東医療相談会
助成期間	2021 年 12 月 1 日 ~ 2022 年 11 月 30 日

<高山弘子基金>

当基金は、個人からの遺贈により 2018 年度に 55,250,000 円の寄付を受け、創設されたオリジナル基金である。寄付者の生前の遺志に従って、「恵まれない環境を余儀なくされた子ども達」のために役立てるために、貧困により生活に困難を抱えている子どもやその家庭に対して支援を行う NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、その活動を支援することを目的としている。

2021 年度は、Give One (ギブワン) に登録されている審査済みの団体から、同基金の目的に合致する活動を行っている全ての団体を選出し、全 17 団体に対して、1 団体あたり 50 万円、合計 8,500,000 円の資金助成を行った。

当助成金の使途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用され、同基金の残高が無くなるまで、全国の恵まれない環境を余儀なくされた子ども達のために、幅広い分野で役立てられる。

受入寄附金額	0円
助成額	8,500,000 円
助成対象団体	Give One登録団体から以下の17団体を選出し、交付決定した。 認定特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン

	認定特定非営利活動法人 フードバンク山梨 特定非営利活動法人 いるか 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま 特定非営利活動法人 キッズドア 特定非営利活動法人 Learning for All 認定特定非営利活動法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ 認定特定非営利活動法人 越谷らるご 認定特定非営利活動法人 フローレンス 特定非営利活動法人 ピアサポートネットしぶや 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート 特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル 認定特定非営利活動法人 SOS子どもの村JAPAN 特定非営利活動法人 リトルワンズ 一般社団法人 やまがた福わたし 特定非営利活動法人 ユースコミュニティー 特定非営利活動法人 Giving Tree
助成期間	2022年1月1日～2022年12月31日

<ビックブリッジ基金>

当基金は、海洋プラスチックゴミ問題に関連する環境保全活動や一般啓発活動を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、その活動を支援することを目的として、2019年度に1,000,000円の寄付を受け創設された。2021年度では、Give One（ギブワン）に登録されている審査済みの団体から、同基金の目的に合致する活動を行っている下記1団体に対して17万円の資金助成を行った。

当助成金の使途は、同基金の目的に合致するプロジェクトに限定して活用され、5年間継続して、海洋プラスチックゴミ問題の活動支援のために役立てられる。

受入寄附金額	0円
助成額	170,000円
助成対象団体	Give One登録団体から以下の1団体を選出し、交付決定した。 特定非営利活動法人 おおいた環境保全フォーラム
助成期間	2022年2月1日～2023年1月31日

<じゅんき教育基金>

本基金は、公益財団法人が不動産等の現物寄付を受け入れすることができる租税特別措置法の特例措置を適用して設置した基金である。寄付を受けた不動産を有価証券に買い換えて、その運用益を公益目的事業に充当する形で運用している。

公益事業での活用方法としては、困難を抱える子どもの教育支援を目的に、該当の活動を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を行う。2021 年度では、Give One (ギブワン) に登録されている審査済みの団体から、同基金の目的に合致する活動を行っている下記 1 団体に対して 20 万円の資金助成を行った。

助成額	200,000円
助成対象団体	Give One登録団体から以下の1団体を選出し、交付決定した。 特定非営利活動法人キッズドア
助成期間	2021年4月～2022年3月

<森山秀男基金>

2019～2020 年度に遺贈として受け入れた 530,822,050 円の資金を基に、運用型の基金を創設した。当基金の運用益は、寄付者の生前のご希望に従い、2022 年度以降において、遺贈者が長年操業していた地域で、関連する人々及び地域の社会福祉、文化の興隆、経済の振興に資することを目的に活用される予定である。2021 年度においては、今後具体的なプロジェクトを実施するための資金を捻出するため、投資信託等による資金運用を継続した。

<NOBUKO 基金>

当基金は、相続財産からの寄付により創設されたオリジナル基金である。故人の遺志に従って、困難な状況を生きる子どもたちが困難を乗り越え、それぞれの可能性を最大限に伸ばせるように支援を行っている NPO 法人等の民間非営利組織に対し資金助成を図り、困難を抱える子どもや家庭に育つ子どもたちを支援することを目的としている。

2021 年度では公募を実施し、審査会にて6団体を選定した。なお、本基金の助成期間は2021年度から2023年度までの3年間継続助成となる。

助成額	15,000,000円
公募	2021年3月23日～2021年4月23日
応募	94件
審査会	2021年6月7日

審査委員	雨森孝悦氏（日本福祉大学福祉経営学部・招聘教授） 赤石 千衣子（特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長） 西野 博之（認定特定非営利活動法人フリースペースたまりば理事長）
審査結果	以下の 6 団体を決定 特定非営利活動法人 ファミリーステーション Rin 特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン 認定特定非営利活動法人 女性のスペース結 認定特定非営利活動法人アトピッ子地球の子ネットワーク 特定非営利活動法人 障がい者みらい創造センター 認定特定非営利活動法人 フリースペースたまりば
助成期間	2021 年 6 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日

<女性リーダー支援基金 ～一粒の麦～>

日本における意思決定過程への女性の一層の参画を通じ、女性の社会的地位の向上を図ることをめざし、相続財産からの寄付に基づき創設されたオリジナル基金である。2019 年度に受け入れた寄付金 40,000,000 円を基に、1 年間に 5 名、3 年間で計 15 名を選定し、1 人あたり 100 万円の活動奨励金を支給。女性リーダーシップ開発やビジョンの実現の支援に活用される。また、本基金の広報等も積極的に行い、国内における女性リーダーの育成・支援への共感や社会的認知度の向上に努める。

2021 年度では、Give One（ギブワン）で当基金に賛同する方々から 195,000 円の寄付を新たに受け入れた。初年度の活動面では、支援対象を「政治家志望」「社会活動の実践者」「社会起業家志望者」「女性のためのアクションリサーチ企画・実践者」の 4 分野に分け、自薦による応募者を募集。様々な分野でリーダーを目指す 5 名の女性が選出された。

受入寄附金額	195,000 円
助成額	5,000,000円（2021年度 1人1,000,000円の活動奨励金×5名）
公募	2021 年 7 月 20 日 ～ 8 月 16 日
応募	137名
審査会	一次審査：2021年8月30日～9月16日 二次審査：2021年9月21日
選考委員	上野 千鶴子（東京大学 名誉教授） 大崎 麻子（特定非営利活動法人Gender Action Platform理事） 白井 智子（特定非営利活動法人新公益連盟 代表理事）

	浜田 敬子 (ジャーナリスト /Business Insider Japan エグゼクティブ・アドバイザー)
審査結果	以下の5名を選出 ウィム サクラ (株式会社+base) 斎藤 明日美 (一般社団法人Waffle) 能條 桃子 (一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN) 濱田 真里 (Stand by Women) 吉岡 マコ (NPO法人シングルマザーズシスターフッド代表理事)
助成期間	2021 年 10 月 ~

<上村清子&幸男結核予防基金>

当基金は、結核症の新規感染者が発生している現状から、その予防支援や治療活動に取り組んでいる医療機関や非営利団体や研究者、専門家へ助成を行うことを目的に、個人からの寄附を受け創設された。

2021 年度は 1,000,000 円の寄附を受け、公募・審査の結果 1 団体に対して 80 万円の資金助成を実施した。

受入寄附金額	1,000,000 円
助成額	800,000 円 (1 団体)
公募	2021 年 8 月 13 日~8 月 31 日
応募	1 件
審査会	2021 年 9 月(審査員によるメール持ち回り審査)
選考委員	岡部 信彦 (川崎市健康安全研究所 所長) 江口 八千代 (認定 NPO 法人ファミリーハウス 理事長) 久住 剛 (公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事)
審査結果	以下の 1 団体を決定 公益財団法人 結核予防会 結核研究所
助成期間	2021 年 11 月 1 日 ~ 2022 年 10 月 31 日

<Music Cross Aid 基金>

当基金は、一般社団法人 日本音楽事業者協会、一般社団法人 日本音楽制作者連盟、一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会の音楽業界 3 団体が発起人となり「Music Cross Aid 基金」として創設された。同基金は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の

継続が困難を極めている日本の音楽ライブエンタテインメント産業を担う事業者や専門スタッフ（フリーランスの個人）を支援し、音楽ライブエンタテインメント産業の現在とその未来を守る一助となることを目的としている。

2021年度は21,162,969円の寄附を受け入れ、昨年度に引き続き、第4回目と第5回目の公募を行った。

第4回目の公募では、個人115件、法人25件を採択し、個人は1人あたり上限20万円、法人は1団体あたり上限100万、総額47,060,059円の資金助成を実施した。

第5回目の公募では、個人55件、法人12件を採択し、個人は1人あたり上限20万円、法人は1団体あたり上限100万、総額22,757,029円の資金助成を実施した。

【第4回目の公募結果】

助成額	47,060,059円
公募	2021年3月30日～4月13日
応募	個人202件、法人44件
審査会	2021年5月19日
審査結果	以下、個人115件を採択。 大高隆則、栗原健、宮本 信、西谷友和、Breath、萱生まさき、門馬由哉、白井アキト、上島尚子、小山 哲、上松翔一、加藤いつかい、井上匡、山田那央、大森成彦、米田裕也、島裕介、土井規右、篤人、小林 靖規、Home Bound、恭世、谷澤 一輝、上田亮、佐藤英樹、コウジ、蓑田真理、川勝真知子、小畑和彦、宮本敦、村田悟郎、辻本哲、原口沙矢架、中道みさき、太嘉志、田中智子、石井悠也、RANNA 蘭奈、渡邊浩志、田中徹、浮村恵梨子、畔柳ユキ、はたけやま裕、柳谷 英勝、Kaoru Inoue、清水ゆかり、Aki、朝里勝久、YellowChoice、加藤三喜洋、稲岡満男、行村 剛、遠山直樹、松本義正、小阪 淳、飯島 マサタケ、石原雄介、あがさ、春名克哲、平畑徹也、山内和義、巻上公一、池窪浩一、ケン、宮里陽太、Miuji、元晴、櫻井武志、写譜高橋、横田明子、小島剛広、岩内崇、ZEN-LA-ROCK、沼部ヒロ子、須磨和声、石内 和樹、山本サトシ、ラビ、加塩人嗣、MINEROCK、DJ DEFLO、emi kaito、北岡徹也、野口亮、矢野晴子、池川篤史、橋川 禎、荒井 尊、望月健太郎、永田こーせー、u-shi、senda、大塚邦郎、山中 雅文、清水裕光、はせはじめ、ユーヨン、Nagi、越川 歩、誇太朗、日野林 晋、太田 厚、山田 学、タルタノリキ、片野吾朗、タカオ、関谷友貴、秋山健介、千葉岳洋、よしうらけんじ、二木元太郎、根本 孝史、伊藤隆郎、野村裕幸、KOSUKE

	<p>以下、法人25件を採択。</p> <p>株式会社はいぶりっじ</p> <p>株式会社 トライシス</p> <p>有限会社リトルビート</p> <p>株式会社音響スタッフ</p> <p>株式会社コーチドゥーク・オーディオ</p> <p>合同会社ロッククラブ</p> <p>株式会社 ケーズファクトリー</p> <p>株式会社 ハーモニーフィールズ</p> <p>株式会社 アルファデザイン</p> <p>株式会社 UNISON COMPANY</p> <p>(有) ハルソニック</p> <p>株式会社シブヤテレビジョン</p> <p>有限会社 デザイナーズユニオン</p> <p>株式会社ショーケース</p> <p>有限会社 アームテックパブリシャーズ</p> <p>株式会社プラスミュージック</p> <p>株式会社スペースコア</p> <p>株式会社プランクトン</p> <p>スケッチルーム株式会社</p> <p>有限会社 エムエイエム</p> <p>株式会社オトノワ</p> <p>株式会社 ティビット</p> <p>特定非営利活動法人 みんなのことば</p> <p>株式会社アズプロデュース</p> <p>株式会社 ジーコーポレーション</p>
助成期間	助成決定時 ～ 2021 年 9 月 30 日

【第 5 回目の公募結果】

助成額	22,757,029円
公募	2021 年 7 月 13 日 ～ 8 月 3 日
応募	個人144件、法人45件
審査会	2021 年 9 月 15 日
審査結果	<p>以下、個人55件を採択。</p> <p>香西進也、尾野五月、大多 貴子、DJ DAISHIZEN、河内肇、服部裕子、</p>

	<p>松永渉、池田 聡、河原塚ユウジ、木内眞実、高向正和、久保田武、佐久間薫、栄田嘉彦、武田和大、小笠原学、井濶昌樹、榎木 康友、村井智子、関根真理、大森聖子、apollo、生田目勇司、塚越慎子、小田島亨、新見政弘、真藤 真紀、Kao、大森勇治、岡 直人、笠間洋平、鈴木邦典、夏秋文尚、小林清明、伊藤 ハルク、野口健志、康廣、菅野刀志充、米倉京佑、坂本夏樹、小島功一朗、ハマカワ慎司、菅野 啓、佐々木聖也、高橋奈緒、佐藤正治、小美濃 悠太、和泉聡志、望月ヒカリ、鈴木栄治、松本直樹、坂出雅海、鎌田紘輔、MIYA、服部正嗣</p> <p>以下、法人12件を採択。</p> <p>株式会社 サウンドプロジェクトムジカ 有限会社 ポッションエッズ 株式会社 ヒューマンデザイン 有限会社おふいすべガ 有限会社waver 株式会社 キュビズム 株式会社DreamQuest Sound 株式会社 artical 合同会社 ふたご座 株式会社アーチドゥーク・オーディオ 合同会社 WALK INN STUDIO 株式会社 ワイズ音楽出版</p>
助成期間	助成決定時 ～ 2022 年 1 月 31 日

<コロナ寄付プロジェクト>

当財団とヤフー株式会社、株式会社トラストバンクは、政府が「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」として、全国すべての国民を対象に一律で給付した10万円を、新型コロナウイルス拡大に伴い影響を受けた個人や企業を支援するために寄付ができる新たな寄付プラットフォームを2020年5月に立ち上げた。ヤフーとトラストバンクの運営するインターネット上の寄付サイトを中心に幅広い層から寄付を集め、「医療分野」「福祉・教育・子ども分野」「文化・芸術・スポーツ分野」「経営困難に追い込まれた中小企業分野」の四分野に加えて、新たに「雇用喪失・生活困窮分野」を設置し、分野ごとに集まった資金を助成する仕組みである。下記の委員からなる審査委員会を立ち上げ、2021年度は、総額52,250,831円の寄附を受け入れ、公募による助成を2回（第4～5回助成）実施した。

◆審査委員名（五十音順）：

今村久美 認定特定非営利活動法人カタリバ代表理事／中央教育審議会委員
 鵜尾雅隆 特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会代表理事
 片山正夫 公益財団法人セゾン文化財団理事長
 工藤啓 認定特定非営利活動法人育て上げネット理事長／金沢工業大学客員教授
 國井修 医師 グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）戦略・投資・効果局長
 渋谷健司 医師 WHO 事務局長上級顧問、英国キングス・カレッジ・ロンドン教授
 南壮一郎 ビジショナル株式会社代表取締役社長
 藤沢烈 一般社団法人 RCF 代表理事／特定非営利活動法人新公益連盟理事・事務局長
 藻谷浩介 株式会社日本総合研究所調査部主席研究員／株式会社日本政策投資銀行地域企画部特別顧問

◆第4回助成の概要

公募期間：2021年5月11日～5月25日
 書類審査：5月26日～6月18日
 審査委員会開催日：6月25日

① 医療分野

助成額	9,320,000円
応募件数	5件
審査結果	以下の3件を採択した。 社会医療法人 岡村一心堂病院 一般社団法人 RCF 郡山医療生活協同組合 桑野共立病院
助成期間	助成決定時から 2022年3月31日まで

② 福祉・教育・子ども分野

助成額	13,666,200円
応募件数	68件
審査結果	以下の8件を採択した。 一般社団法人 インクルージョンネットかながわ 特定非営利活動法人 西白杵教育振興連合会 特定非営利活動法人 Lotus 特定非営利活動法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ

	特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者の等の会 特定非営利活動法人 抱樸 社会福祉法人 関西いのちの電話 公益財団法人 京都市ユースサービス協会
助成期間	助成決定時から 2022 年 3 月 31 日まで

③ 文化・芸術・スポーツ分野

助成額	【団体】 3,698,200円 【個人】 1,500,000円
応募件数	【団体】 10件 【個人】 25件
審査結果	団体においては、以下の2件を採択した。 株式会社青い鳥創業 認定NPO法人あっちこっち 個人においては、以下の5件を採択した。 佐藤さくら子（伝統芸能） 赤松美紀（ピアニスト） 音の家 otonoya（音楽家） 光島貴之（美術家） 洪明花（韓国戯曲の翻訳と紹介）
助成期間	助成決定時から 2022 年 3 月 31 日まで

④ 中小企業分野

助成額	【中小企業】 7,999,500円 【個人事業主】 900,000円 【宿泊業(中小企業)】 2,000,000円 【宿泊業(個人事業主)】 300,000円
応募件数	【中小企業】 12件 【個人事業主】 7件 【宿泊業(中小企業)】 2件 【宿泊業(個人事業主)】 1件
審査結果	中小企業においては、以下の8件を採択した。 MobilExSchool 合同会社 特定非営利活動法人 Mama's Cafe スケッチルーム 株式会社 認定NPO法人 スポーツアカデミー 株式会社 OlinaS 一般社団法人 ファストエイド 一般社団法人 あゆみ 株式会社AsMama

	<p>個人事業主においては、以下の3件を採択した。</p> <p>本田 誠 渡邊 香緒里 戸田 泰宏</p> <p>宿泊業特別枠（中小企業）においては、以下の2件を採択した。</p> <p>特定非営利活動法人 白神自然学校一森校 一般社団法人 愛・南魚沼みらい塾</p> <p>宿泊業特別枠（中小企業）においては、以下の1件を採択した。</p> <p>満州屋</p>
助成期間	助成決定時から 2022 年 3 月 31 日まで

◆第5回助成の概要

公募期間：8月10日～8月31日

書類審査：9月1日～10月13日

審査委員会開催日：10月14日

① 医療分野：採択件数10件、助成総額47,000,000円

助成額	49,999,999円
応募件数	24件
審査結果	<p>以下の10件を採択した。</p> <p>国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター 学校法人昭和大学 昭和大学病院 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 香川県済生会病院 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター 学校法人 聖路加国際大学聖路加国際病院 国立大学法人 大阪大学医学部附属病院 国立大学法人 滋賀医科大学医学部附属病院</p>
助成期間	助成決定時から 2022 年 3 月 31 日まで

② 中小企業分野

助成額	【中小企業】 7,000,000円 【個人事業主】 966,143円 【宿泊業(中小企業)】 1,000,000円
応募件数	【中小企業】 12件 【個人事業主】 7件 【宿泊業(中小企業)】 2件
審査結果	<p>中小企業においては、以下の7件を採択した。</p> <p>株式会社 ハコニワ・ファーム 株式会社 イースマイリー 一般社団法人 おやとこプロジェクト 有限会社 おきなわ教育ラボ 株式会社 A Ma-no 特定非営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク 日本ミャンマー支援機構 株式会社</p> <p>個人事業主においては、以下の4件を採択した。</p> <p>山浦 康二 渡邊 浩志 加藤 征子 三田 貴之</p> <p>宿泊業特別枠（中小企業）においては、以下の1件を採択した。 株式会社 尾瀬岩鞍リゾート</p>
助成期間	助成決定時から 2022年3月31日まで

<塩沼亮潤 大阿闍梨基金～ともに寄り添うプラットフォーム～>

2021年12月、塩沼亮潤大阿闍梨（福聚山 慈眼寺住職）の寄付によって、弊財団内に「塩沼亮潤 大阿闍梨基金～ともに寄り添うプラットフォーム～」が創設された。当基金は、塩沼亮潤大阿闍梨の私財の寄付 1,000,000円をもとにスタートしているが、この大阿闍梨の志に共鳴・共感いただける皆様からの共感寄付（2021年度 900,000円）も基金に受け入れている。目標とする寄付金額5,000,000円に達し次第、厳しい暮らしに直面している子どもや生活困窮者をケア・支援する非営利団体などに対して、資金支援を行う予定としている。

<民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律に伴う事業>

民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律に基づき、指定活用団体である一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）により、弊財団は昨年

度までに以下の4事業（①～④）が既に採択されており、2021年度ではこれに加え、「⑤子どもシェルター新設事業」が新たに助成対象となった。

【休眠預金等活用事業一覧】

- ①2019年度通常枠「子ども支援団体の組織基盤強化」（草の根活動支援事業・全国ブロック）
- ②2019年度通常枠「支援付住宅建設・人材育成事業」（ソーシャルビジネス形成支援事業）
- ③2020年度通常枠「中核的フードバンクによる地域包括支援体制」（イノベーション企画支援事業）
- ④2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成枠「コロナ禍の住宅困窮者支援事業」
- ⑤2021年度通常枠「子どもシェルター新設事業」（草の根活動支援事業・全国ブロック）

【個別事業の実施状況】

① 子ども支援団体の組織基盤強化

本事業は、子ども支援に取り組む団体（実行団体）が組織基盤強化事業に取り組むことを支援することで、支援ニーズのある子どもを対象としたプログラムを提供するNPOの組織力を高めることを目指す。その結果、支援プログラムやサービスの量や質が向上し、5～10年後には最終受益者である子どもの状況が改善される社会環境となっていくことを目標にするものである。

2021年度は、2020年度に引き続き実行団体の伴走支援と、中間評価を行った。また、2022年度の事業継続に向けて継続審査を行った。なお、本事業の実施期間は2022年度までとなる。

受入助成金額	81,686,819 円（3年間総額、PO関連経費、評価関連経費含む）
助成額	45,532,800 円（3年間総額、評価関連経費含む）
継続審査会	2022年3月4日
審査委員	中村 陽一（立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 教授） 河合 将生（office musubime 代表） 森本 真也子（特定非営利活動法人 子どもと文化全国フォーラム代表理事、特定非営利活動法人 子ども文化地域コーディネーター協会 専務理事）
実行団体	特定非営利活動法人 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい 認定特定非営利活動法人 発達わんぱく会 認定特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル 一般社団法人 無限

事業実施期間	2020年4月～2023年3月
--------	-----------------

② 支援付住宅建設・人材育成事業

本事業は、2020年4月から政府が実施する「貧困ビジネス対策と、単独での居住が困難な方への生活支援」制度を活用し、無料低額宿泊所の新基準に対応する建設費用等を助成すると同時に、質の高い生活支援人材の育成を通じ、「住まい」と「生活支援」をセットで提供するソーシャルビジネスのビジネスモデルの構築を支援するものである。

2021年度では、2020年度に決定した実行団体への2年目の助成金交付と各団体の助成事業の伴走支援を行った。また、2年目の助成事業の実施にあたり継続審査会を行い、実行団体としての適格性を確認した。なお、本事業の実施期間は2022年度までとなる。

受入助成金額	225,626,157円（3年間総額、PO関連経費、評価関連経費含む）
助成額	185,316,853円（3年間総額、評価関連経費含む）
継続審査会	2021年8月27日
審査委員	高橋 紘士（東京通信大学教授、一般財団法人高齢者住宅財団顧問） 宮島 俊彦（岡山大学客員教授、日本薬業連合会理事長） 井上 由起子（日本社会事業大学専門職大学院教授） 柴沼 俊一（株式会社シグマクス常務執行役員） 小野田 峻（小野田高砂法律事務所代表弁護士）
実行団体	特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会 特定非営利活動法人抱樸 特定非営利活動法人ワンファミリー仙台
事業実施期間	2020年11月～2023年3月

③ 中核的フードバンクによる地域包括支援体制

本事業は、地域の食支援ネットワークの中核となる団体の基盤強化を行い、継続的な食品・資金調達につなげ、地域のフードバンク、子ども食堂、フードパントリー等と連携関係をつくることを通じ、県域レベルの包括的な食支援の体制構築を目指す。ネットワークを組成する各種食支援団体によって支援を必要とする世帯に支援が届くのみならず、支援対象者が食に欠く状況から脱し、それぞれの事情に応じた公的支援に繋がっている状態を目標とする。

2021年度は実行団体の審査・選定を行い、5団体を実行団体として内定した。各団体との資金提供契約締結後助成金の交付を行い、各実行団体の事業が開始されたのちは、団体の助

成事業の伴走支援を行った。また、2年目の助成事業の実施に向け継続審査会を行い、実行団体としての適格性・事業進捗を確認した。なお、本事業の実施期間は2023年度までとなる。

受入助成金額	214,982,243 円 (3年間総額、PO 関連経費、評価関連経費含む)
助成額	154,642,263 円 (3年間総額、評価関連経費含む)
公募	2021年2月3日～2021年3月26日
応募件数	20件
審査会	<p><実行団体選定審査会></p> <p>一次審査会：2021年4月26日</p> <p>二次審査会：2021年5月15日</p> <p><継続審査会></p> <p>2022年3月26日</p>
審査員	<p>渡辺 元 (公益財団法人助成財団センター 理事)</p> <p>徳永 洋子 (ファンドレイジング・ラボ 代表)</p> <p>中尾 洋三 (味の素株式会社サステナビリティ推進部社会グループ)</p> <p>三島 理恵 (特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ マネージャー)</p> <p>米山 広明 (一般社団法人全国フードバンク推進協議会 事務局長)</p>
審査結果	<p><実行団体></p> <p>認定特定非営利活動法人フードバンク山梨</p> <p>企業組合労協船橋事業団フードバンクちば</p> <p>特定非営利活動法人フードバンクネット西埼玉</p> <p>特定非営利活動法人フードバンク TAMA</p> <p>公益社団法人フードバンクかながわ</p> <p>※上記5団体全てについて、継続審査会で2022年度の事業継続についても決定</p>
事業実施期間	2021年7月(契約締結後)～2024年3月

④コロナ禍の住宅支援事業

本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で住まいや居場所を失い、生活の立て直しが必要な人を対象に、「住まい」と「就労支援含む自立支援」をセットで提供する社会的事業構築を、住宅物件取得のための初期投資へ資金提供することで支援し、その後の持続可能な支援付き住宅提供システムの構築を目指す事業である。

2021年度は実行団体の公募・審査・選定を行い、4団体を実行団体として内定した。各団体との資金提供契約締結後助成金の交付を行い、各実行団体の事業が開始されたのちは、団

体の助成事業の伴走支援を行った。なお、本事業の実行団体の実施期間は2022年2月末まで、資金分配団体としての実施期間は2022年3月末であった。

また、本事業においては、実行団体の継続的な事業運営のための継続的な資金調達の一環として、企業からの寄付流入を目的とし、職場募金実施のためのITシステムプラットフォーム構築及びこれを実際に運用してのモデルキャンペーンを実施した。モデルキャンペーンについては1企業を対象として2022年2月～3月に実施し、資金分配団体として事業を進めている住宅関連2事業の実行団体計7団体を対象に寄付を募集したところ、当該企業の従業員数の55%に当たる325名が参加し、総寄付額は103,000円となった。

受入助成金額	0円（2020年度中に受入済）
助成額	378,915,321円
公募	2021年4月30日～2021年6月30日
応募件数	15件
審査会	2021年8月6日
審査員	高橋 紘士（東京通信大学教授、一般財団法人高齢者住宅財団顧問） 宮島 俊彦（岡山大学客員教授、日本薬業連合会理事長） 井上 由起子（日本社会事業大学専門職大学院教授） 柴沼 俊一（株式会社シグマクス常務執行役員） 小野田 峻（小野田高砂法律事務所代表弁護士）
審査結果	一般社団法人 Colabo 特定非営利活動法人 POPOLO 特定非営利活動法人 ささえる 社会福祉法人 共生福祉会
事業実施期間	2021年9月（契約締結後）～2022年2月末

⑤子どもシェルター新設事業

本事業は、困難を抱える子どもの権利回復を目的に、子どもの代弁者としての弁護士や福祉関係者らが中心となりながら、居場所のない子どもたちの緊急避難所となる子どもシェルターを、子どもシェルター未設置地域に開設し、児童自立生活援助事業として持続的に運営する団体を支援する事業である。

2021年度に資金分配団体としての選定を受け、JANPIAとの資金提供契約を締結した。また、実行団体の公募・審査・選定を行い、内定団体を決定した。実行団体との契約および助成金の交付・助成事業開始は2022年度からとなる。なお、本事業の実施期間は2025年度までとなる。

受入助成金額	135,828,299 円 (3年間総額、PO 関連経費、評価関連経費含む)
助成額	89,250,000 円 (3年間総額、評価関連経費含む)
事業実施期間	2022 年 4 月 ~ 2025 年 3 月

(2) 社会貢献活動についての情報提供、相談事業

社会貢献活動を促進したいと考える企業を対象に、以下の情報提供や成果評価を行った。

<azbil みつばち倶楽部>

Azbil みつばち倶楽部は、会員（アズビル株式会社の役職員の有志）が毎月 100 円を拠出して集めた寄附をもとに、会員が推薦する市民活動団体に対して資金支援をすることを目的としている。本年度は、アズビル株式会社と業務委託契約を結び、支援先の募集、受付、選定、連絡、報告書の取り寄せ、本プログラムへのアドバイス等を行った。

<Power of Choice 基金>

Power of Choice 基金は、株式会社トラストバンクが運営する「ふるさとチョイス」を利用し、「Power of Choice project」の主旨に賛同した寄付者の皆様とともに同社内に創設した基金である。新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の継続に困難を生じた事業者が持続可能な地域社会構築に向けて、地域の経済や課題解決に取り組む新たなチャレンジを応援することを目的とする。

本年度は、株式会社トラストバンクと業務委託契約を結び、支援先の募集、受付、選定、連絡、本プログラムへのアドバイス等を行った。

助成可能額	25,822,212 円 (賛同支援者数 : 53,676 名)
公募期間	2022 年 1 月 21 日~2022 年 2 月 28 日
応募件数	53 件 (※審査等は 2022 年度に実施)

(3) 寄附を推進するための普及啓発活動等に関する事業

1) 個人や企業等からの寄附を喚起するための事業

遺言や相続に関する寄附やオリジナル基金の創設について説明する各種パンフレットの作成に取り組んだ。遺贈寄附推進のために全国レガシーギフト協会の「いぞうの窓口」として活動した。

(4) 社会的活動を行う団体等に対する助成事業

上記(4)は、(1)の事業において受け入れた寄附を活用する事業である。いずれの事業においても、広く対象を募集し、社会的活動や各種の公益活動分野に関して知見のある有識者で構成された委員会による公平かつ厳正な審査を経て選定を行う。(4)の助成事業については、(1)の事業で記載した。

(5) 社会的活動を行う団体等に対する寄贈事業

<AED・地域あんしん基金>

キャノンマーケティングジャパン株式会社と共同で「AED・地域あんしん基金」を設立した。本基金はご寄附をもとに、多くの市民が利用する公共施設や福祉施設にAEDを寄贈し、災害時などに避難所となることが想定される施設などに設置することを目的としている。運営管理はパブリックリソース財団が行い、キャノンマーケティングジャパン株式会社は募金活動の協力およびAEDの設置、講習インストラクターの派遣を行う。

本年度は、1件合計400,000円の寄附を受け入れた。

審査委員会で応募1団体を審査し、1団体に寄贈を決定した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、寄贈は2022年度に持ち越すこととする。

受入寄附金額	400,000円
寄贈台数	1台
公募	財団ホームページ上で随時受け付け
応募件数	1団体
審査会	2021年1月(メールによる持ち回り審査)
選考委員	浅野 幸子(早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」招聘研究員) 市瀬 敬子(NPO法人世田谷福祉住環境コーディネーター研究会 理事長) 山崎 富一(特定非営利活動法人笑顔せたがや 理事・事務局長)
AED寄贈先 選定結果	以下の1団体を決定。 松山さかのうえ日本語学校

<株主優待活用プロジェクト>

一般社団法人ギビングフォワードと協働で取り組んだプロジェクトで、放棄されたり有効に使われなかった株主優待品を現物寄附として受け取り、社会貢献に取り組む民間非営利団体等に寄贈した。

受入寄付金額	3,885,059円（現物寄附）
寄贈金額	3,307,633円

（６） 社会的活動を行う団体等に対する研修事業

NPO 法人の経営力・信頼性の向上を支援することを目的に、以下の研修事業を実施した。

１）NPO のマネジメントコンサルティングの実施

＜特定非営利活動法人おかえり＞

同団体が Panasonic NPO サポート ファンドの支援を受け、弊財団にマネジメントコンサルティングを業務委託し、2021 年度は弊財団が組織診断のコンサルティングを開始した。

契約期間：2022 年 1 月 20 日 ～ 2022 年 7 月 31 日

コンサルティングの内容：組織診断

＜「国際協力 NPO 基盤強化支援事業」への協力＞

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会が行う、「2021 年度国際協力 NPO 基盤強化支援事業」において、新規支援先 3 団体に対する「NPO マネジメント診断シート」の提供および回答の集計と、活用方法についてのレクチャーを行った。2 年目継続団体 2 団体に対しては、診断シートの提供と回答集計のみを行った。

レクチャー実施日：2021 年 5 月 19 日

回答期間：2021 年 5 月 31 日 ～ 2021 年 6 月 11 日

２）NPO マネジメントに関する講座の運営および講師派遣

＜講師派遣＞

外部セミナー等への講師派遣を 3 回行った。

- 2021 年 6 月 24 日 JANPIA 主催 休眠預金業務改善プロジェクトチーム会議における資金分配団体における評価事例「組織基盤の強化をどのように評価するか」（田口）
- 2021 年 7 月 とちぎボランティア NPO センター「ぼ・ぼ・ら」主催 市民活動大学校「NPO マネジメント診断」（田口）
- 2021 年 12 月 8 日 JANPIA 主催 資金分配団体プログラム・オフィサー（PO）研修における「伴走支援の事例」（田口）

(7) 調査研究、情報発信、政策提言に関する事業

1) Panasonic NPO サポート ファンドの 20 周年節目評価結果の発信

パナソニック株式会社主催で 2021 年 7 月 12 日～15 日の 4 日間の日程で行われた、サポートファンド 20 周年記念シンポジウム・ウィークのオープニングセッションにおいて、2020 年度に実施した 20 周年節目評価の結果を報告した。また、同社と共に内容を「組織基盤強化助成 20 周年節目評価レポート」(冊子)にまとめ配布した。

2) Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs の成果等に関する調査の実施

パナソニック株式会社が「Panasonic NPO サポート ファンド」をリニューアルして 2018 年度よりスタートした「Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs」について、スタートからの 3 年間を振り返り、その意義と成果、および今後のプログラムや評価方法の改善に向けた考察・提言をまとめ、報告書として同社に提出した。

<法人管理>

1 理事会・評議員会等

2021 年度の開催経過は下表のとおりである。

会議の回数と開催日 及び開催場所 (方法)	出席者数	議題
2021 年度第 1 回理事会 2021 年 5 月 31 日開催 (オンライン会議)	理事総数 8 名 定足数 5 名 理事出席 5 名 監事出席 2 名	<承認事項> ・2020 年度事業報告及び財務諸表の決定 ・2021 年度事業報告及び財務諸表の承認 ・評議員及び役員を選任の決定 ・顧問の選任 ・現物資産等寄付基金に関する基金明細書等の提出等 ・助成審査委員会の設置並びに委員の委嘱 <報告事項> ・事業の進捗状況、ほか 3 件
2021 年度定時評議員会 2021 年 6 月 17 日開催 (当法人会議室及びオンライン会議)	評議員数 11 名 定足数 6 名 評議員出席 7 名 理事出席 2 名 監事出席 2 名	<承認事項> ・2020 年度事業報告及び財務諸表の承認 ・評議員及び理事並びに監事の選任 <報告事項> ・2021 年度事業計画及び収支予算、ほか 2 件

2021年度第2回理事会 2021年6月17日決議 (書面決議)	理事総数 8名 理事回答 8名 監事回答 2名	<承認事項> ・代表理事の選任
2021年度第3回理事会 2021年10月18日開催 (オンライン会議)	理事総数 8名 定足数 5名 理事出席 7名 監事出席 2名	<承認事項> ・助成審査委員会の設置並びに委員の委嘱 <報告事項> ・事業の進捗状況、ほか3件
2021年度第4回理事会 2021年12月21日決議 (書面決議)	理事総数 8名 理事回答 8名 監事回答 2名	<承認事項> ・電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定 ・助成審査委員会の設置並びに委員の委嘱
2021年度第5回理事会 2022年3月14日開催 (オンライン会議)	理事総数 8名 定足数 5名 理事出席 6名 監事出席 2名	<承認事項> ・2022年度事業計画及び収支予算の決定 ・2022年度運用計画の決定 <報告事項> ・事業の進捗状況、ほか3件

2 業務執行体制等

(1) 執行体制

2021年度は、久住剛理事長、岸本幸子専務理事の代表理事2名体制により、職務執行が行われた。

(2) 職員等の状況

2021年度末の職員数は18名であり、その主な役職の内訳は以下のとおりである。また、上記職員に加え、10名のシニアフェローが前述の<事業活動>に記載した様々なプロジェクトの実施・運営に関わり、職員と連携して事業を遂行している。

《職員の内訳》

- ・事務局長 1名
- ・プログラムオフィサー 10名
- ・総務担当 4名
- ・経理担当 2名
- ・法務・コンプライアンス担当 1名
- ・シニアフェロー10名

以上